

# 社会科学習指導案

## 1 単元 政府の役割と国民の福祉

### 2 単元設定の理由

#### (1) 教材観

##### ①学習指導要領上の位置づけ

###### 【知識及び技能】

(2)ア(ア) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解すること。

###### 【思考力・判断力・表現力等】

(2)イ(ア) 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。

##### ②単元の価値

これからの社会保障と財源確保の問題をどのように解決していくべきか、当事者意識をもって考察、構想、表現させることで、財政の現状と課題に対する理解と関心を高めさせることができる。

##### ③単元の系統性

- ・「価格の働きと金融」では市場経済と金融、景気の変動について、諸資料を比較・関連させながらその仕組みについて理解し、政府の働きと金融の関わりについて考察したことを表現した。
- ・「これからの経済と社会」では「本当の豊かさを実現した社会とは」を課題とし、財政と公害や環境保全、貿易との関わりを通して持続可能な社会な発展の実現を追究し、考察できるようにする。

#### (2) 生徒観 (男子 18 名、女子 16 名 計 34 名)

##### ①既習の学習内容や活動

- ・「人権と共生社会」では社会権について学習し、憲法が保障する生存権を根拠に高齢者の人権と生活保障について当事者意識をもって考えたことを表現する活動を行った。

##### ②本単元に関わる生徒の実態

- ・「将来の日本が抱える課題」として、26人が少子高齢化、年金制度など社会保障に関連した課題を2つ以上挙げる事ができたことから、社会保障制度についてのおおよその知識や関心をもっている生徒が多いことがわかる。ただ、課題が生じている原因や求められる対策については具体的な記述は見られず、聞いたことのある用語を挙げているだけに留まっている生徒がほとんどである。
- ・「日本が抱える課題の解決に向け必要と思われる学習」として、「税金の種類について」「高齢者の望むサービス」「年金制度について」といった具体内容が複数挙げられた。しかし、学習した事柄をどのように役立てられるか、という質問についてはあいまいな記述が多く、身につけた知識を活用しながら、吟味や比較・検証をすることで考えの再構築を図る考察力は、十分ではないことがわかる。

##### (3) 指導観

- ・新聞やニュースなどで話題となっている具体的な事象を取り上げて興味・関心を高め、生徒にとって必要感のある課題を設定し当事者意識をもたせながら追究させることで基礎的・基本的な知識の確実な習得を図る。
- ・様々な統計資料を比較、関連させることで、適切な情報収集能力を身に付けさせる。

## 3 単元の目標

日本の財政の現状や政府の役割について知り、見いだした課題について複数の視点や立場から多面的・多角的に考察することを通して、「誰もが幸せな社会」の実現のためには、どのような社会保障の制度が必要なのか構想し、表現することができる。

#### 4 指導と評価の計画（別紙参照）

#### 5 本時の展開（4／5）

##### (1) 目標

日本の社会に見られる課題を資料から読み取り、意見交流によって導き出した改善策と実際の社会保障制度を比較することを通して、日本の社会保障制度の理念や仕組みを理解することができる

##### (2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価				
<p><b>1 前時の振り返りから、本時の課題をつかむ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財政は不安だけど、国民への保障が無くなるのは困る。</li> <li>○社会保障制度について知っていることを発表する。</li> <li>・病院にかかる時、保険証を持って行くと安くなるよね。</li> <li>・国の歳出のうち、最も大きな割合を占めているのは社会保障関係費だったな。</li> <li>・少子高齢化と関係がありそうだ。</li> <li>・ほかにどのような制度があるんだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保険証や予防接種など、社会保障制度が身近なところで活用されていることに気付かせる。</li> <li>○当事者意識をもって活動に臨めるように、自分たちも含め国民だれもが幸せになる権利を有しているということを意識付けるようにする。</li> <li>○前時までに学習した財政のことにも触れ、関連付けて想起できるようにする。</li> </ul>				
<p><b>課題：「社会保障」とはどのような考えを基に成り立ち、どのような仕組みになっているのだろうか。</b></p>					
<p><b>2 諸資料から日本社会が抱える課題を見だし、どのような保障が必要かを話し合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教師が提示した資料を基に自分たちの生活と「公衆衛生」「公的扶助」がどのように関わっていたのか考える。</li> <li>○グループに分かれ、「社会保険」「社会福祉」に関する諸資料から、どのような課題があるのかをグループで話し合い、付箋紙に書き出す。</li> <li>○課題に対し、考えられる保障の内容を話し合い、付箋紙を移動させグルーピングをする。</li> <li>・年金や病気の保障は、働く世代が負担して成り立つという共通点があるよね。</li> <li>・保障が一時的なのか、継続するののかによっても違うね。</li> <li>・お金で保障するのか、サービスを提供するのかによっても違うよ。</li> </ul> <p><b>3 共有した内容と現行の社会保障制度を比較することで、社会保障の仕組みや根拠について理解する。</b></p> <table border="1" data-bbox="92 1397 767 1644"> <tr> <td data-bbox="92 1397 427 1536">                     社会保険・・・保険料を納める                      ・年金の保障 ・病気の保障                      ・労働者の保障                 </td> <td data-bbox="427 1397 767 1536">                     公的扶助・・・生活の保護                      ・低所得者の生活、教育保障                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="92 1536 427 1644">                     社会福祉・・・社会的弱者支援                      ・親が働いている間の保育                      ・高齢者の生活                 </td> <td data-bbox="427 1536 767 1644">                     公衆衛生・・・健康の維持                      ・感染症の予防                      ・環境衛生                 </td> </tr> </table>	社会保険・・・保険料を納める ・年金の保障 ・病気の保障 ・労働者の保障	公的扶助・・・生活の保護 ・低所得者の生活、教育保障	社会福祉・・・社会的弱者支援 ・親が働いている間の保育 ・高齢者の生活	公衆衛生・・・健康の維持 ・感染症の予防 ・環境衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動のサンプルとして比較的生徒の生活に関わりの深い「公衆衛生」「公的扶助」を取りあげる。</li> <li>○生徒が関連付けたり比較したりしながら多面的・多角的に考察できるような資料を、複数提示する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">〈提示資料〉総務省・厚生労働省 HP より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産年齢人口と高齢者数の推移</li> <li>・医療費の推移</li> <li>・独居高齢者数の推移 ・各国女性就業率比較</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が当事者意識をもって考えられるように、それぞれの資料と自分の生活との関わりについて考えさせる。</li> <li>○妥当性や効果、実現可能性などを踏まえさせる。</li> <li>○根拠に基づいて吟味・検討しやすいよう、学級全体で共有させる。</li> <li>○社会保障制度の理念が生まれた歴史を踏まえ、国が保障することの意味を考えさせることで、既習である生存権を想起させる。</li> </ul> <div data-bbox="839 1503 1430 1644" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【知識及び技能】</b>                      社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度の仕組みについて理解することができる。                      （発言・ワークシート）</p> </div>
社会保険・・・保険料を納める ・年金の保障 ・病気の保障 ・労働者の保障	公的扶助・・・生活の保護 ・低所得者の生活、教育保障				
社会福祉・・・社会的弱者支援 ・親が働いている間の保育 ・高齢者の生活	公衆衛生・・・健康の維持 ・感染症の予防 ・環境衛生				
<p><b>4 本時の学習について振り返り、考えをまとめるとともに、新たに疑問に思ったことを記述する。</b></p>	<div data-bbox="113 1749 1410 1890" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈振り返り〉 ・自分の生活も、色々な社会保障制度によって支えられているということを知った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障制度は、憲法が保障する生存権を基に国民の生活を色々な立場から保障する制度だと分かった。</li> <li>・少子高齢化が進むとしたら、このままの制度で大丈夫なのだろうか、疑問に思った。</li> </ul> </div>				

指導と評価の計画 社会 3年 単元「政府の役割と国民の福祉」(全5時間計画)

目標	日本の財政の現状や政府の役割について知り、見いだした課題について複数の視点や立場から多面的・多角的に考察することを通して、「誰もが幸せな社会」の実現のためには、どのような社会保障の制度が必要なのかを考え、表現することができる。				
評価規準	<p>【知識及び技能】 国民生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている役割や具体的な制度についての知識を身に付け、写真やグラフ、統計資料から日本の財政と現代社会の特色を読み取り、諸課題を整理してまとめることができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 少子高齢社会を迎えた日本における、福祉の充実と財政とのバランスはどうあるべきか、多面的・多角的に考察し、根拠に基づき適切に自分の考えを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 経済活動や社会保障制度に対して関心をもち、現代日本が抱える諸課題を意欲的に追究しようとしている。</p>				
過程	時間	目標・課題	学習活動	振り返り	評価項目 (方法・観点)
つかむ	1	<p>◎日本が抱える諸課題と自分の将来と照らし合わせながら、その原因や対策について関心をもち、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>資料から読み取れる日本の課題について気付いたことを話し合い、単元の問いを設定しよう。</p>	<p>○図表や新聞資料などを基に、日本の現状と将来について追究したい課題について話し合い、単元の問いを設定する。</p>	<p>☆少子高齢化が進めば、今のままの制度では、働く世代が高齢者を支えられなくなる。</p> <p>☆誰もが不自由なく活躍できる社会にしたい。</p> <p>☆生存権があるのだから、国民みんなが国から幸せな生活保障をしてもらえないはず。</p> <p>☆どのような社会保障なら、みんなが幸せになれるだろう。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 日本が抱える課題について、気付いたことや疑問に思ったことを意欲的に発表したり文章に表したりすることができる。 (発言、ワークシート)</p>
単元の問い: 誰もが幸せな社会を実現するためには、どのような社会保障制度が必要なのだろう。					
追究	1	<p>◎統計資料を基に国の財政や税金の種類、仕組みについて調べ、その知識を身に付けることができる。</p> <p>国の経済活動や税制にはどのような特色があるのだろう。</p>	<p>○歳入・歳出の統計資料から国の財政の特色をまとめる。</p> <p>○税金の種類やそれぞれの特色を調べ、日本の税制の仕組みを理解する。</p>	<p>☆国の収入のほとんどは税金なのだ。色々な種類の税金があるな。</p> <p>☆支出の中では社会保障関係費が一番多い。</p> <p>☆公債金と国債費の割合がともに大きくて、日本の将来は大丈夫かな。</p>	<p>【知識及び技能】 財政や税金の種類、仕組みを理解することができる。 (発言、ワークシート)</p>
すすめる	1	<p>◎財政政策の役割について理解したうえで、公債発行の実態と課題について話し合い、今後の財政に在り方について考察することができる。</p> <p>政府の経済的役割と財政の課題について知り、これからの財政の望ましい在り方について考えたことをまとめよう。</p>	<p>○財政政策が景気の統制のために果たしている仕組みと役割を理解する。</p> <p>○国債残高の推移から、気付いたことを話し合う。</p> <p>○これからの財政の望ましい在り方について考えたことを話し合う。</p>	<p>☆政府は税の増減によって景気の良し悪しをコントロールしている。日銀の金融政策に似ているな。</p> <p>☆国の借金は、税収が減った1990年代から増えている。バブル経済の崩壊が関係ありそうだな。</p> <p>☆このまま借金が増えれば、将来の財政が圧迫されてしまう。</p> <p>☆借金を将来に回せばよいという考えは良くないな。</p> <p>☆民間にサービス提供を任せて「小さな政府」を目指すことも必要だ。</p>	<p>【思考力・判断力・表現力等】 財政の課題について、納税者や政府など様々な立場から多面的・多角的に考察して公正に判断し、自分の考えを表現することができる。 (発言、ワークシート)</p>

	1 (本時)	<p>◎日本が抱える課題について多面的・多角的に考察しながら導き出した自分なりの社会保障制度と比較し、現行の社会保障制度がどのようなものなのか理解することができる。</p> <p>「社会保障」とはどのような考えを基に成り立ち、どのような仕組みになっているのだろう。</p>	<p>○財政や年齢別人口の変化などの資料から、どのような社会保障制度が必要なのかを自分なりに考え、話し合う。</p> <p>○現行の制度と自分の考えを対比し、わかったことをまとめる。</p>	<p>☆自分の生活も、色々な社会保障制度によって支えられていることを知った。</p> <p>☆社会保障制度は、憲法が保障する生存権を基に国民の生活を色々な立場から保障する制度だと分かった。</p> <p>☆少子高齢化が進むと、このままの制度では効率が悪くなるのではないのか、疑問に思った。</p>	<p><b>【知識及び技能】</b> 社会保障の基本的な考え方と日本の社会保障制度の仕組みについて理解することができる。 (発言、ワークシート)</p>
まとめる	1	<p>◎持続可能な社会の実現を意識しながら、これからの社会保障と財政の在り方について、他国の事例と比較するなど多面的・多角的に考察し、表現することができる。</p> <p>誰もが幸せだと思える社会保障制度の実現のために、何ができるのか考えたことをまとめよう。</p>	<p>○資料から国家財政の負担の増加を読み取り、その理由や今後の予想を話し合う。</p> <p>○他国の制度と比較しながら、保障と財政の在り方について話し合う。</p> <p>○今後の日本を見通して必要となる社会保障制度の実現に向け、考えたことを記述する。</p>	<p>☆少子高齢社会に応じて、税制の仕組みや種類を変えて、不公平感のない社会保障制度を考えていく必要がある。</p> <p>☆スウェーデンのように、高福祉高負担になっていくことが予想されるので、財政の無駄が何なのかを検討し直し、改善していくべき。</p> <p>☆アメリカのような自己負担型も悪くないが、収入の差によってますます格差が広がる心配がある。</p> <p>☆社会保障制度によって社会が良くなるのは確かなので、制度が続くようにしていきたい。</p> <p>☆効率と公正の考え方も取り入れながら、行政と民間とが負担し合って成り立つ社会保障も考えていくべきだ。</p>	<p><b>【思考力・判断力・表現力等】</b> 社会保障制度と財政の在り方について、身近な生活事例や諸外国の例との比較を通して多面的・多角的に考察し、自分なりの考えを適切に表現することができる。 (発言、ワークシート)</p>